



医療工学応用を指向した生体ナノ構造体解析技術と
次世代クライオ電子顕微鏡開発を実現する
拠点構築に向けた調査研究

第2回クライオTEMセミナー

講義内容

クライオ電子顕微鏡を用いた 生体高分子構造解析の最近の進展

講師：光岡 薫 (大阪大学超高压電子顕微鏡センター)

最近、電子直接検出カメラやボルタ型位相版など、いくつかの技術開発により、クライオ電子顕微鏡を用いた単粒子解析や電子線トモグラフィーによる構造解析の分解能が飛躍的に向上した。講演では、このような向上を可能とした要素技術を紹介すると共に、膜タンパク質複合体を例として、我々の単粒子解析などを用いた構造解析結果を紹介する。

日時・場所

2017年

9月26日 (Tue.) 15:00~16:00

入場無料

申込不要

※当日受付にてお名前の
記入をお願いいたします。



国立研究開発法人 物質・材料研究機構
千現地区 第2会議室

会場へのアクセス

TX「つくば」駅下車 A3 出口より徒歩 15 分
または NIMS 定期便をご利用下さい

